

Fureai

Fujita Related All Information

2020 7.1
Vol.
277

【RPA導入／貸付金制度／ハッピー・パートナー企業登録】

より働きやすい 環境にアップデート

【2019年度下期 優秀小集団】
企業発展に尽力する
各チームの活動成果と評価

2019年度下期 小集団活動

優秀小集団

- 1 活動選定の経緯と概要
- 2 苦労したこと、苦労に対して工夫したこと
- 3 活動の成果

燕支店／スリッター

作業停止時間の削減（S-1ライン リコイラーセット時間の短縮）

- 1 ラインセットや準備時間、トラブル等をライン停止時間と捉え、月当たりの停止時間で一番多かったリコイラーセットを改善するため、このテーマを選定しました。
- 2 現状把握から要因分析までに時間を要しましたが、不具合の洗い出しが細かくできました。手待ち時間の段取り基準表、人員配置表を掲示から教育したことで、作業のムダムダを効率改善できました。
- 3 日当たりのリコイラーセット時間を32分短縮することができました。全ラインメンバーが作業習得でき、時間短縮に伴い定時間当たりの加工コイル本数の増加に繋がりました。

評価ポイント

新導入の稼働率計を活用しリコイラーセット時間を47%削減したことや、予想効果を試算した上で対策の有効性を見極めたこと、そして会合回数11回と充実した内容を評価した。

三条支店／S-1S-3合同サークル

お客様向けHOOPの プロテクター装着の低減

- 1 板厚0.35mmHOOP材の巻きズレ発生率（ムラ）が8月以降上昇傾向であり、プロテクター装着作業（ムダ）と災害リスクUP（ムラ）の3ムをなくし、作業効率化を目指しました。
- 2 過去の検査記録表からのデータ集計と、データ分析をするためのグラフ化に苦労しました。見る側からの理解しやすさをキーワードに、若手メンバーが中心となり作成したグラフによつて、より深い分析をすることができました。
- 3 巻きズレがなくなり、作業の効率化が図れました。5月初旬にS-1S-3に自動セパレーターが設置され、水平展開でセパ寸法設定基準の参考になったとS-1S-3メンバーから意見がありました。

評価ポイント

日頃の問題点でもあったテーマ選定ができています。効率化と品質向上を目的とした活動で予想効果も想定できており、現状把握が的確。成果も目標達成できており、良い活動であった。

松本コイルセンター／スリッター班

梱包時間の見直しによる 生産性の向上

- 1 スキット梱包にかかる作業時間が非常に多く、中でもスキットの準備製作にかなりの労力をかけていました。少しでも作業時間を削減するため、今回のテーマを選びました。
- 2 スキットの作り方探し方・保管に関するルールが明確に決まっていなかったため、その統一に時間がかかり苦労しました。連携図を用いて不具合点を2点に絞り改善するとともに、メンバーの作業意識も見直しました。
- 3 活動期間が短かったため、今回はスキット置き場の整理に要点を絞りましたが、年間39万6900円という目標以上の予想効果が出たので、最低限の活動はできたとおもいます。

評価ポイント

常態化した梱包作業の実態に焦点を当てて改善に取り組んだ結果、生産効率の向上に加え、置き場の整理整頓、尚且つスキットの再利用率向上、材木費削減にも繋がれたことを評価した。

総務チーム

ETCマイレージの 見直し

- 1 2016年ETC導入時、高速道路の利用金額によりマイレージ対象者を選定しましたが、その後、異動等による対象者の見直しや、マイレージの有効性を検証できていませんでした。
- 2 制度理解及びマイレージ割引率の高い条件設定、膨大な利用者データからの対象者抽出に苦労しました。勉強会開催後、当社の利用状況を顧みながら割引条件を整理し、Excel機能を活用して高割引者の順位表を作成しました。
- 3 2020年3月の支払額は前年同月比約20%削減、新型コロナウイルスの影響も考えられますが、予想削減率65%を大きく超えました。年1回見直しをかけ、効果を維持していきます。

評価ポイント

定量的に現状を分析して攻めどころを明確にしたことで、200万円以上の年間想定効果が得られたことは大きな会社貢献と考える。今後もふとした気づきを見逃さず、改善に結び付けてほしい。

RPAで業務効率化を推進します

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは？

RPAとは、主にデスクワーク(定型作業)をソフトウェアのロボットが代行・自動化する仕組みです。工場では以前より手作業をロボット化してきましたが、RPAは事務作業専用のロボットと言っているでしょう。藤田金庫では2018年より導入され、2020年5月末までに21の業務に適用、約700時間/年の削減効果を生んでいます。

◆RPAができること

RPAが適する業務は、①情報が電子化されており、②定期的に発生し、③判断ルールが明確である業務です。

例えば、入力、転記、照合、集計、検索、送受信などのルーティンワークです。

◆RPAのメリット

ロボットは人間と違い疲弊しないため、決められた業務を365日24時間ミスなく行えるという利点があります。RPAによってルーティンワークにおける人為的ミスや残業を減らし、より付加価値の高い業務へ集中することも可能です。

導入事例(総務部)

当社でまず導入されたのが、総務部で毎月勤怠締め後に行う全社員の勤怠チェックです。3名の担当が4時間/人かけてチェックしており、作業負担となっていました。その作業をRPA化することにより、144時間/年かかっていたものを、約102時間/年削減。1名で担当できるようになり、チェックミスもなくなりました。

RPA導入にご協力いただいた各部署の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。全ての導入事例はNotes掲示板「業務自動化RPAツールのご案内」で紹介していますので、ぜひご覧ください。

RPA導入のポイントは「業務プロセスの可視化」です。導入をご検討されている場合は、情報システムチームまでご相談ください。



郡山コイルセンター復旧に向けて 補助金の交付が決定しました

2019年10月12日から13日にかけて本州に上陸した台風19号の影響により、郡山コイルセンターは事務所並びに工場内に最大80cmの浸水が発生し、各種設備及び保管中の鋼材が被災しました。復旧のため、福島県が実施する補助事業に応募し、2020年4月3日に補助金交付決定の通知を受けました。

補助金について

「福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助金(令和元年台風19号等)」が正式名称で、2019年の台風19号及び20号、21号により被害を受けた中小企業等に対し、復旧及び復興を促進することを目的としています。但し、補助率は補助対象経費に対して中小企業等であれば国と県から合わせて4分の3、1事業者当たり15億円までと決まっています。

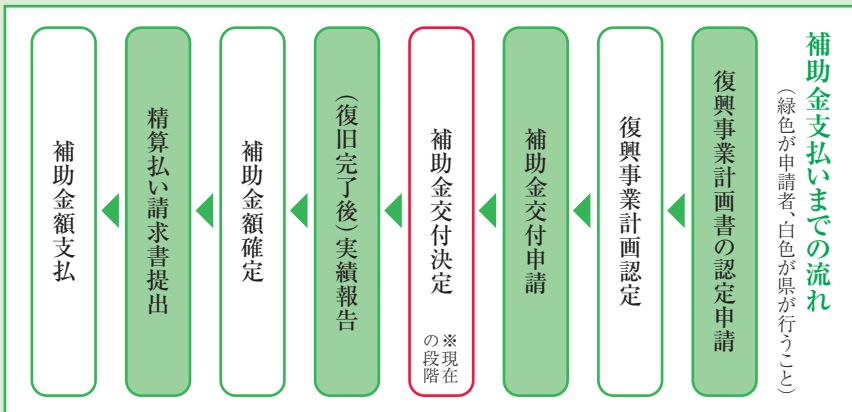
郡山コイルセンターでの 補助金の使い道

事務所や工場の修繕費、機械の修繕費用に使われます。細かく言えば、屋内の清掃やエアコン、シャッター等の修理、工場のペンキの塗り直しなど、多岐にわたります。

補助金は国の予算で決まっているため、2020年度中には補助金が支給される予定です。

補助金支払いまでの流れ

(緑色が申請者、白色が県が行うこと)



オンライン飲み会が開催されました

新型コロナウイルスの影響により外出自粛が求められた中で登場した「オンライン飲み会」。当社でも、薄板事業部が新たに導入された「Teams(チームズ)」を使って開催しました。5月下旬に開催した時の様子を、メンバーの一人にお伺いしました。

Q. 開催することになった経緯は？

A：「男もすなるWeb懇談会といふものを女もしてみむとてするなり」と誰かが言ったと言わなかったとか。決して飲み会ではありません。

Q. Teamsは、普段の業務でどのようなシーンで使われていますか？

A：社内社外問わず、部署を越えての会議は3月中旬以降すべてオンラインになりました。在宅勤務者との業務上のやり取りでもチャット機能が相当使われたようです。

Q. オンラインならではの良さを教えてください。

A：懇談会でしたら、自分のペースで飲み物を飲めること。

Q. 対面での会話と違い、不便なところはありますか？

A：隣の人とコソコソ話はできません。全員が共通の話題で参加します。当然ながら、ろくな話題にはなりません。

Q. 「用意しておいた方が良い物」「気を付けた方がよいこと」は？

A：自分で用意するドリンクとフードのチョイスには気を配りましょう。個人的には魚肉ソーセージがかっこ良かった。

Q. Teamsでオススメの機能はありますか？

A：自分の背景を変えてハワイのタペとかにしているように装うことができます。危険なのは、間違っただ録画ボタンとか録音ボタンを押してしまうこと。誰かが押すと全員に通知されます。

【Teamsとは】

マイクロソフトが提供するアプリケーションの1つです。チャットやテレビ会議、音声通話等ができ、当社では2019年9月より導入されています。



Teamsのチャット機能が多くの部署で利用されている中、昨今の情勢によりテレビ会議の利用も増えています。当社は各拠点が離れている分、移動には時間や安全面でデメリットが生じます。感染防止はもちろんのこと、業務効率化や円滑なコミュニケーションのためにも、オンラインツールの積極的な活用を推進していきます。

ご存知
ですか？

貸付金制度

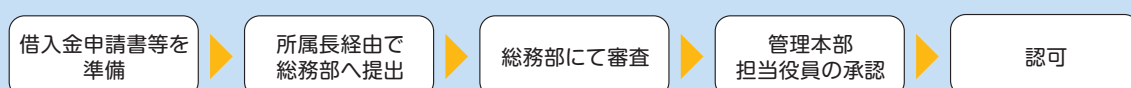


当社には、従業員の福利厚生のために資金の貸付を行う制度があります。貸付の対象は主として「宅地の購入」「住宅の購入・新改築」「子供の育英資金」「自動車の購入・買換」「災害等非常時必要資金」等に当てるとされており、少額貸付については制限はございません。

◆ 貸付金の種類

種類	貸付限度額	資格	連帯保証人
少額貸付	10万円以上～50万円まで	試用期間(3か月)満了者	1名
普通貸付	50万円超～200万円まで	在籍3年以上	配偶者・子女・従業員以外の者1名
住宅貸付	500万円まで	在籍3年以上且つ25歳以上	配偶者・子女・従業員以外の者2名及び不動産担保設定

◆ 貸付金が認可されるまで



◆ 貸付金の返済

貸付金の返済は、貸付を受けた月の最初の給与及び賞与から、概ね給与の10%、賞与の30%の割合で返済しなければなりません。利息も毎月返済金と合わせて給与から差し引かれます。(2020年5月現在 年利1.0%)

貸付金制度のご利用をお考えの方は、まずはNotes規則集「従業員貸付規程」のご確認をお願いいたします。またご不明点等ございましたら、総務部までお問い合わせください。



ハッピー・パートナー企業に 登録されました

2020年5月8日付で、ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)に登録されました。

男女がともに働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む新潟県内の企業が、ハッピー・パートナー企業として登録されます。

当社の具体的な取り組みとしては、「男女の固定的な役割分担意識に基づく慣行の見直し」「所定外労働の削減」「年次有給休暇の取得促進」「育児・介護休業を取得しやすい環境づくり」「仕事と家庭の両立のため、多様な働き方ができる環境づくり」「知識、資格取得の支援」などがあります。

ハッピー・パートナー企業に登録されることで、企業イメージ・知名度アップにつながるるとともに、新潟県建設工事入札参加資格審査の加点要件や新潟県の建設工事発注で総合評価方式を導入する場合に評価項目となったりします。

